参考資料

第１回委員会（H30.7.6）における
質疑応答まとめ

【高齢者福祉施設等及び温浴施設のあり方について】

高齢者福祉施設等及び温浴施設（ロクハ荘・なごみの郷）のあり方について

1. 施設利用者の状況について

質問	回答
ロクハ荘となごみの郷の1日の利用者数は。	概ね300日／年の開館を行っているため、単純計算では以下のとおり。 ロクハ荘：195人／日　程度 なごみの郷：303人／日　程度
施設に来られる方の来館手段は何が多いのか。	来館手段は以下の順のとおり。 ロクハ荘：①自家用車、②徒歩、③自転車 なごみの郷：①自家用車、②自転車、③巡回バス、バイク ※各施設実施のお客様アンケートより

2. 施設の設備状況等について

質問	回答
施設にAEDの設置はあるか。	両施設とも設置している。
施設への看護師の配置状況は。	両施設とも医務室はあるが、看護師の配置はない。
救急搬送を行う際、本人の希望がない場合は、施設から最も近い病院へ搬送するなどのルールはあるか。	特段のルールはない。

３．施設の利用料等について

質問	回答
草津市民であるかどうかによって、施設の利用料が異なるが、利用者の住所はどのように把握しているか。	シルバーホットカード、運転免許証や保険証等で住所の確認を行っている。
シルバーホットカードの利用により、利用料等が減額される施設は他にあるか。	利用できる主な施設は以下のとおり。 【市立施設】 草津宿本陣、水生植物公園みずの森、市民交流プラザ（軽運動室）、ロクハ公園プール　等 【県立施設】 琵琶湖博物館、安土城考古博物館　等
温浴施設の料金について、市として引き下げるなどの考えはあるか。	温浴施設の利用料金は、平成30年４月に料金改定（値上げ）を行ったところである。これは公衆浴場法に基づき、滋賀県が定める一般公衆浴場の統制単価が引き上げられたことに伴う値上げ。
温浴施設の収支状況は。	温浴施設の収支は、利用料金だけでは賄えていない状況である。

4. 巡回バスについて

質問	回答
巡回バスの本数は。	施設ごとに5コースの路線を作っており、それぞれのコースを週2回運行できるよう設定している。
巡回バスはノンステップ仕様になっているか。	２台ともノンステップ仕様にはなっていない。
ロクハ荘行きの巡回バスは笠縫学区も運行しているか。	運行している。なお、バス停については、地域の方が乗りやすい場所をいくつか設定している。

5. 高齢者福祉施設等基礎調査について

質問	回答
「施設を何のために利用しますか」（※高齢者福祉施設等基礎調査報告書）について、「その他」の回答が3番目に多い。「その他」の具体的な内容は。	主な内容は以下のとおり。 「食事」、「卓球」、「友人とのお喋り」、「同好会活動」、「孫と遊ぶ」、「会議」など
両施設について、施設利用者数の目標数値を設定しているのか（目標数値を下回っているため、利用者数を増やしたいという考え方か）。	施設利用者数、温浴施設利用者数ともに目標数値の設定は行っていない（65歳以上の高齢者が増加しているにも関わらず、利用者が減少していることについて、高齢者ニーズと施設で展開している事業が合致していないのではないか、との問題意識は持ってる）。
「施設を利用しない理由はなんですか」（※高齢者福祉施設等基礎調査報告書）に対し、「興味がないから」が35.4%を占めているが、具体的な理由は把握しているか。	「施設を利用しない理由はなんですか」については、選択式の回答となっており、具体的な理由については把握できていない。
高齢者が施設に対して、取り組みの充実が必要と考える内容を把握しているか。	主な取り組み内容は以下のとおり。 「講座・イベント」、「介護予防の取り組み」、「健康・生活相談」、「多世代の交流事業」等 ※高齢者福祉施設等基礎調査報告書より